

令和4年10月24日
国立大学法人長岡技術科学大学
学長選考・監察会議

学長の業務執行の状況の検証結果について

国立大学法人長岡技術科学大学学長選考・監察会議規則第4条第3項に規定する学長の業務執行の状況の検証を行いましたので、その結果を公表します。

1. 検証のプロセス

- (1) 令和4年度第2回学長選考・監察会議（令和4年9月28日開催）において、以下の資料、学長のプレゼンテーション及び学長選考会議委員との質疑応答により検証した。
- ・学長選考基準（平成27年1月27日付け学長選考会議決定）
 - ・学長選考時における所信（令和2年8月28日学長選考会議公示）
 - ・業務の実績に関する報告書（令和4年6月大学改革支援・学位授与機構提出）
（令和4年6月文部科学省提出）
 - ・監事の監査結果報告書（令和3事業年度監査報告書）
 - ・令和3年度の業務執行状況の説明資料（プレゼンテーション資料）

なお、検証にあたり、監事から令和3年度の監査業務における意見を聴取した。

2. 検証結果について

令和3年度における学長の業務執行の状況については、適切に執行されていると判断する。

令和3年度は、第四期中期目標・中期計画期間を前にして、大学の理念そのもののアップデート、将来ビジョンと実現までの計画を定め、それを担う教職員人事の方針を策定するなど、学長としてのリーダーシップを明確に発揮し、全教職員がその内容を共有できるよう努めている。

大学の特徴である、高専と連携した共同教育研究を進め、その国際化（国際通用性の拡大）、グローバル化に向けた国際ネットワークの拡大、さらに研究機器の遠隔・DX化により、地域の活性化及び研究力向上に精力的に取り組んでいることは高く評価できる。

また、ダイバーシティを積極的に進め、特に若手教員のためのメンター制度等、人材育成に努めている。さらに産業界、地域、グローバル社会との多様なステークホルダーとの協業を推進、実行している。

一方で、様々なプロジェクトへの申請が採択されてはいるものの、採択された結果としてできたこと、進んだことをより一層明確にすることで、その成果をよりわかりやすく説明することにも留意されたい。

以 上